

**保幼小中一貫教育の推進方針・学校等再配置計画についての住民説明会  
質疑応答要旨(11/20)**

\* 質問・回答とも要旨を記載しております。  
本説明会の主旨に関係する質問のみ掲載

No.	種別	発言内容	回答内容
C-1	質問	この話の出発点は平成20年の西地区3小学校の再配置がスタートと思っています。それから平成28年の答申まで、西地区各自治会代表、各PTA代表、学校代表等を集め検討されています。東地区は入っていません。平成28年答申では「各地区の実情があるので再配置をまとめることはできない」、「早急にしてはダメだ」、「人口施策を講じるように」と答申が出ています。しかし、それが全くされていません。その後、約1年半、さほど議論はされていないと思われます。答申が出た時には東地区から学校がなくなることも考えられていたのに、その時に東地区住民、保護者を集めて会合をなぜされなかったのか。教育委員会の中だけで決められています。決め方に断固反対します。	平成20年頃から西地区の児童・生徒数の減少がみられることから自治会、先生、PTAの方々に集まっていただき検討されました。平成25年にも提言がなされ、その後もこの問題について内部検討がされ、西地区だけの問題ではなく東地区での問題でもあるということで、平成27年から全小中学校長、PTA代表、教師代表、学識経験者において議論されました。そして平成28年3月に4案という形ですが、この答申が出されました。 昨年8月に町長の指示を受け、これまでの検討結果を再度整理し、メリット・デメリット、子どもたちの今後の状況を踏まえた上で子どもたちの将来等を検討し、一つの案を出しました。 なぜ地域の方の意見を聞いていないのかということですが、平成28年の答申を尊重し、結論を出したということです。
C-2	質問	地域の意見を尊重する意思はないのでしょうか。このような大切なことを教育委員会だけで決めてしまうのですか。	平成27年度に1年間かけて、西地区も東地区も全ての校園のPTA代表もお集りいただき議論をしていただいております。
C-3	質問	平成28年の答申には、4案出ています。その後、1案に絞るときには教育委員会会議で決められたのですか。その後、教育総合会議で大綱を決められたと思うのですが、そこに住民の方は入っているのですか。	教育委員で案を考え、町長に報告したということです。
C-4	質問	保護者の会で集まって話をしており、保護者の過半数の方が説明会、決め方について納得いかないと反対しています。説明会に参加する保護者が減ってきたから住民説明会に移ったという言い方をしています。おかしくないですか。	5/16より保護者説明会を各校園2回ずつ、その後、合同で西地区1回、東地区7回持ちました。その中で、町づくりや人口増加策について問い合わせされましたが、教育委員会でお答えできないところであり、早く町長部局も説明会に参加して欲しいという要望もありました。それと説明会をもつとやろうと小規模の説明会の案内はしましたが、希望がありませんでした。よって住民説明会を開催させていただきました。

C-5	意見	<p>学校に通う子どもはいまはいませんが、これは子どもたちの問題ではないと思います。住宅環境にも問題が出てくると思います。</p> <p>私の経験上、1クラスでも問題はなかったです。考え直すよう要望します。</p>	<p>いまの子どもの現状を見ますと、学校現場の中で様々なつづき・課題があります。発達の早期化につれ、高学年になるほど学級崩壊が数年に1度の頻度で豊能町でも起こっています。発達障害を抱える児童の増加によってクラス・学校の中で落ち着きがない状況が生まれています。いじめ、不登校、コミュニケーション能力の低下もあります。社会性の未発達、少人数集団での固着化が顕著になっていて、自立の妨げ、自立機能の未発達もあります。そのような中で子どもたちに新しい学校の形が必要になってきています。その一つが小中一貫教育です。今後AIが職業を奪っていく激動の時代になると言われています。そこで求められている学校教育の内容は、「時代に求められる基礎的な力を確実に習得する」ことです。出口(卒業)をしっかり見据えて確実に基礎的な力を習得させることです。一人ひとりの学びに応じた、最適化された学びの補償、さらにきめ細やかな教育をやっていきなさいということです。いままでの教育とこれからの教育で求められている内容が違います。</p> <p>東地区では、いまでも中学校の教員が厳しいというお話をしましたが、いままで以上のきめ細やかな指導というものは、やはり教員の数が必要です。現状はクラス数で教員数が決まりますので、できるだけ子どもの数を確保し、複数クラスにして教員の数を確保する。それが子どもたちの個別の指導、学びにつながると考えています。学校の指導体制についても、小学校高学年における専科教員の配置、小学校教員と中学校教員が協力し合える環境づくりがないと、いま言った教育は進まないと思っています。小学校、中学校の9年間の教育のスパンで、しっかり子どもたちを育てて行きたいと思っています。</p>
C-6	意見	<p>一連の説明会に参加していて、「統廃合について、住民の意見が反映されていない」との声が多く聞こえます。今回の話は、教育と町政(町づくり)とが、チグハグな感じがします。</p> <p>学校統廃合の追跡調査をされている筑波大の方の論文では、「学校が無くなった地域の過疎化が一層進むことが危惧されてる」と言われています。</p> <p>将来持続可能な町政を維持するための町づくりと財政の観点で、皆さんに意見を問うていただきたい。</p>	<p>人口減の原因ですが、豊能町の場合、転出よりも転入が少ない、また出生よりも死亡が多いということであります。子どもが減っていく要因ですが、いま豊能町では20代、30代の方の転出が突出して多いです。これは、就職時と結婚時です。これにより生まれてくる子どもの数が少ないということです。この悪循環が続いている状況です。</p> <p>そこで、「まち・ひと・しごと総合戦略」をつくり、まずは豊能町の知名度を上げることからやっております。これは少しでも若い方に転入してもらおう、また転出を留まっていたらこうという意図もあり、取り組んでいるものです。</p> <p>次に財政面の件ですが、これは建築費等のことを仰られていると思いますが、一般的に小中一貫校の建設費用は30～50億円と聞いております。この建設費を国の補助金と起債で賄おうと考えております。そうしますと、町の持ち出しは建設年度におきましては、建設費用の5%と見込んでいます。それと起債したものの返済(償還金)ですが、25年で考えておりますが、これに対し地方交付税措置があり、町の持ち出しは毎年数千万円で納まると見込んでおり、小中一貫校を建てましても豊能町の財政は持つと判断しています。</p>
C-7	質問	<p>いまの話は、幅があるがどの額で見込まれていますか。</p>	<p>仮に一番高い50億円をとると、建設年度は5%程度なので2億5千万円の持ち出しになるだろうと試算しております。</p> <p>起債に関しては地方交付税措置がいただけますので、25年間で考えますと償還の持ち出しが年間3千万円程度と見込んでいます。</p> <p>設計ができた折には、議会にも住民の皆様にも説明いたしますので、いまは幅が広すぎてこのような表現しか出来ませんのでお許しください。</p>
C-8	意見	<p>教育の話聞きに来たのではない。小学校が無くなるのか、中学校が無くなるのか、どこまで話が進んでいるのか、それを覆せるのかを聞きに来た。</p>	<p>いまの段階では、教育の方針について説明をしているということです。</p>

C-9	質問	方針についての説明ということだが、春あたりから「道の駅構想」が出ており、場所は中央公民館、東能勢中学校、旧双葉保育所となっています。この話と連動しているのではないですか。「道の駅」ありきの話ではないかと感じました。まだ変更はできるのでしょうか。	最終決定は、実施設計費・建設費の予算化、学校条例の廃止・設置があり、議会での議決を経ることになります。「道の駅」については、小中一貫校の話とは全く別のところで検討しており、いまのところ中央公民館、旧双葉保育所、診療所を敷地と考えておりますが、まだどこまで敷地に含むかを決めておりません。決まりました折には、それぞれその代替の方法、施設の在り方等を検討していく必要があると考えております。学校の再配置が前提となっているものではありません。
C-10	意見	教育の理想論をお話しされていたが、現教育現場を否定されているのかなと感じました。	より良い学校、より良い教育、いま以上の教育環境整備を行っていくための話と受け取っていただきたいと思います。
C-11	質問	統廃合により複数クラスになる話がありましたが、何年間維持できると考えておられるか見込みを教えてください。	推計になりますので、何年とは言いきれませんが、保護者説明会でも説明していますが、ただ単学級になったとしても、その1クラスの人数が大事と思っています。いま東能勢中学校では1クラス30名おります。その人数であれば、いま教科によってはクラスを分割して、よりきめ細やかなことはやっておりますが、それが10名程になってくると教師の人数を確保することが現実的に難しくなり、きめ細やかな教育は望めません。1小1中にした場合は、単学級になったとしても、30人程度のクラスが相当な期間、確保できるものと考えております。ところが、2小2中の場合は、それが非常に厳しいと見込んでおります。
C-12	意見	ダイオキシンの風評被害があるのに、なぜ西地区に学校を持っていくのか疑問があります。学校があつてこそ、人が集まるのではないのでしょうか。いま診療所もない状態です。	ダイオキシン問題につきましては、東地区・西地区の自治会を回り、説明はしています。安全性は一定認めていただいておりますが、自治会として受け入れられないということになっておりまして、現在新たな自治会と交渉しているところです。
C-13	意見	タウンミーティングの話がありましたが、保護者が何名参加されていたのかが気になります。告知は広報では見た気がしますが、小中一貫のことが記載されていなかったように思います。今回の説明会の表題についても、東能勢小・中学校が廃校とか、西地区1校になることが分からない。東地区から学校が無くなることを知らない東地区の方がいると思います。	表題についてですが、答申の中でも「統廃合」でなく「再配置」という言葉を使っております。今回の説明会も、一つの学校に集約する統廃合の話ではなく、全ての学校について一旦リセットして、改めて一つの学校を作るということで「再配置」という言葉を使っております。
C-14	質問	タウンミーティングの中で、東地区から学校が無くなっても良いという意見があったのでしょうか。	賛否両論がありましたが、これからの教育についてまでの議論はありませんでした。少子化の現状をお伝えし、「子どもが減るのなら案を出し、早く説明に来るべきではないか」、「小さな学校でも良い教育はできる」など、地域によって色々な意見があったと思います。「廃校にしても良い」という意見はありませんでした。

C-15	意見	<p>東地区に学校が無くなると、こちらの地域の町づくりをどのように考えておられるのでしょうか。能勢町教育長が学校を一つにしたがための反省の弁を述べられています。町づくりと学校は切り離せないと思います。東地区で学校を存続させるように要望します。</p>	<p>「町づくり」と一括りにしてしまうと難しいですが、「子育てがしやすい」、「若年層が選びやすい環境」、「住みたくするような環境」、「地域の資源を生かして仕事・お金を作る」というようなことを続けていきたいと考えております。ただ昔のように開発し、住宅地を作ることはできなくなっていますので、小さいことからやっていくことになろうかと思っております。現在、町内で空き家が増えています。この空き家を活用し、空き家バンクやトライアルステイ、また現代版下宿の可能性に取り組んでいるところです。</p> <p>また、教育や子育てのサポートについても、他市町に劣らない事業をやっており、東地区では道の駅、右近の郷、志野の里を中心として観光の起爆剤にできないかと考えているところです。農業についても、就農支援、ブランド化の支援、法人化の支援に取り組み、トヨノドリーム(起業支援)にも取り組んでいます。</p> <p>これらが「町づくり」と呼べるものかは分かりませんが、若年層の転入促進、転出抑制で少子化に歯止めをかけたいとの思いで、取り組みをしています。これらの取り組みで、人口が増えるとか子どもが激増するだとかは想定しておりません。</p> <p>。20代、30代の転出が人口減の要因ですので、そこをどう抑えるかに取り組んでいます。</p>
C-16	意見	<p>西地区の住民です。西地区の説明会にも参加し、東西の温度差を知りたくて参加しました。東地区では学校が無くなることに対して、危機感を感じられていることを実感しました。</p> <p>西地区の説明会で、2小2中の案はないかと尋ね、東地区では複数クラスが組めないと言いましたが、1学年数名の状況になるまで、東地区はこのまま学校を残しても良いのではないかと感じました。</p> <p>西地区の学校統合と、東地区の学校存続が同時進行でも良いのではないかと感じました。</p> <p>それと、仮に1小1中になったとき、通学時間が長ければ、子どもたちの学習意欲が削がれないのかを心配します。</p>	<p>通学バスの具体的なダイヤ等は決まっておられません。現状希望ヶ丘から東能勢中学校までは徒歩で30分程かかっています。発着点を余野にするのではなく、希望ヶ丘なら希望ヶ丘にバス停を設置し、そこから乗車することで、いまの通学時間とあまり変わらないように考えております。授業後等の待ち時間については、バスのダイヤにより学校活動に制約を来たすようなことはないように、その他のことも準備会で検討していく予定です。</p>
C-17	質問	<p>東地区の子どもが少ないのであれば、小規模特認校の導入とかを考えていただければ、運営できるのではないかと思います。考えておられますか。</p> <p>それと東能勢中学校は比較的新しいですし、耐震化も済んでいる既存の施設を利用すべきではないでしょうか。</p>	<p>特認校は、本人・保護者が希望して特認校に指定された学校に行ける制度です。近隣でも行われています。特認校は、自力(保護者の送迎含む)での通学が原則ですので、東地区で特認校をするのは難しいと思っております。</p> <p>既存施設の活用という話ですが、仮に東西に1校ずつ一貫校を設置するとすると、東能勢中学校では教室が不足、東能勢小学校でやることとなります。小学校の耐震化は出来ていますが、どの学校も建設から相当の年数が経過し、大規模な改修が必要となります。</p>
C-18	意見	<p>仮説に基づくものはありますが、この案なら、経費がどれくらいかかると、起債はどれくらい、ランニングコストはどれくらいかかって、住民サービスはどうなるのかなどを示さないと住民の納得は得れないのではないですか。</p>	<p>詳しい数字がでていませんので、いまは曖昧なお答えしかできません。</p> <p>ランニングコストの件ですが、仮に6つの学校が1つになりますと単純に6分の1にはなるかどうか分かりませんが、かなり浮いてくることは間違いないと思っています。</p> <p>通学バスの購入につきましては、町の持ち出しが全くなくなるわけではありませんが、財政支援措置があります。運行経費につきましては地方交付税(普通交付税)の措置があります。今後、精査する必要はあると思っています。</p>

C-19	質問	<p>小中一貫教育については、専門の方に お任せしたら良いと思いますが、廃校と いう話は納得できませんので、希望ヶ丘 の集会所でも、このような説明会を開い ていただいて、現況を説明していただき たいと思います。</p>	<p>この住民説明会が終わりまして、教育委員会、教育委員、 議会等と協議をしまして、今後どう対応していくかを決めて いきたいと思っています。</p>
C-20	質問	<p>保護者説明会では、西地区で反対が出 ていないと仰られていました。私たちの 運動の中で西地区の方でも反対の方が おられました。そのことについて訂正を お願いします。 この話は大多数の方が反対されたら、 計画を考え直すと仰っておられます。 「大多数とは数字で示して欲しい」と要 望していますが、そのことについて意見 を聞かせていただきたい。</p>	<p>西地区では、約160名の参加をいただいております。ひかり幼稚園でお一人、反対であると仰られていました。未就園児の説明会でもお一人かお二人おられたということです。「廃校そのものが反対である」というよりもむしろ、「卒業式はどうなるのか」「制服はどうなるのか」等、質疑応答要旨に記載のあるように、一歩進んだ話がほとんどだと理解しています。 「大多数」の件ですが、学校を残して欲しいという意見と、再配置して欲しいという意見が両方あると理解しています。教育委員会としては、今後の子どもたちの現状を考えると、学校を残す場合は、子どもたちの教育条件が悪くなるという判断をしております。子どもの数も、教員の数もそうです。教育環境としては、文科省のいう適正配置には程遠い状況であります。そういう教育条件が悪くなる条件を理解していただき、その上で大多数の方が反対であれば、再度町長と協議しなければならないと答えたと考えております。 大多数というのは、何人とか、何%という定義はしておりません。</p>